

交通計画・社会実験

運行補助事業は？

胡子 雅信 議員

答 実施に向けて協議中



胡子 本市には、100人単位の職場が残念ながら市役所のほかは少ない。通勤・通学・通院者にとつては、バス・海上交通が

【生命線】です。3月に発表した平成26年度までの「交通計画」と本年度予算化した（895万円）の社会実験等の進捗状況を問う。

市長 バス事業については、呉市営と能美バスの

市税徴収率等JUNSN

胡子 県内で下から2番目の徴収率です。対策については越野議員の質問で理解しました。過去2年度（17・18年度）の決算書を見ると未収市税や不納欠損金（時効で徴収

不納）を加味した予算案を作成していると思えるのですが。

市長 本年度の市税徴収率は98%の見込み、本年度の歳入不足はないと思

う。**市民生活部長** 市税の予算額はご指摘のとおりです。

旧・秋月ごみ処理場問題は

胡子 市長が6月定例会で議会報告した、旧江田島町秋月ごみ処理場の不法状態の適正化（適法化）を県と協議していることあ

胡子 現状回復のために江田島市民（旧・江田島町の負の遺産を）が費用負担しなければならぬ。県との協議の中で分かる範囲内の情報を市広報誌や議会報告でお願いしま



▲ 小用港で乗客を待つ呉市営バス

学校統合の成果と課題は

石下 洋子 議員

答 子どもに積極性が出てきた



石下 本年の四月、小学校が統合されて半年が経過したが、統合による成果と課題は何か。

教育長 子どもの状況は、交遊の輪が広がったこと、クラブの編成ができるよ

うになったこと、子どもに積極性が出てき、自立性が育ち始めたことなどである。

バス通学については、当初は問題もあったが、改善に取り組み、現在は



▲ 学級活動中の江田島小学校児童

順調に推移している。**石下** 教職員がバスに乗る子ども点検や同乗して送るなどに多くの時間を取られ、職員会議や子どもとの教育の時間がとれにくい、教育委員会として何らかの手だてを取る必要があるのではない

か。**教育長** 子どもとふれあう時間がとれないのは問題だが、学校中の活動はすべて教育活動である。教職員のバス同乗については調査して適切に対処したい。

大須地域にマイクロバス運行再開を

石下 バス路線のない大須地区では、マイクロバス運行の廃止により、通

院などに大変困っている。マイクロバス運行の再開はできないか。

市長 大須く切串間のマイクロバス再開は難しい。今、市交通計画に基づいてバス路線の一元化に取り組んでいる。交通空白地域の問題は、地元からの強い要望もあり、以前からの課題である。合併して三年、その間、議論してきた。たとえばスクールバスの路線バス化や普通路線をつなぐバス便の創設の可否等について、鋭意検討している。もう少し時間をいただきたい。

身に浸みる行財政改革

前田 鎮夫 議員

答 状況を見ながら進める

早期に市道の管理方策を

前田 道路維持業務のあり方について、「危険、何とかしてくれ」との声も聴く。管理実施体制等を検討するとしているが、具体的に検討を進めているのか。

市長 少ない予算で職員も苦勞努力しながら管理している。一部は管理委託しているものもあるが、これからの状況を見ながら進めていく。

ゴミ処理等の施設管理委託

前田 環境センター等の終末処理施設の業務の一部は既に委託されているが、委託効果について検

出張所・連絡所の整理統合は進めるのか

市長 スリムで効率的な行財政運営の確率が急務である。地域の実情等にも配慮しながら、引き続き進める。



▲ 廃園になった保育園

全国的な公開実態については、ある大学の調査で調査対象10の市町村の中22番目と聞いている。